第２７期

事業報告

令和５年２月 １日から
令和６年１月 31 日まで

㈱ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

事　業　報　告

（令和５年２月　１日から
令和６年１月 31 日まで）

１．会社の現況に関する事項

（１）事業の経過及び成果

2022 シーズン、クラブ創設以来初の国内主要タイトルでもある天皇杯で優勝を果たし、AFC チャンピオンリーグ（以下 ACL という）の出場権を獲得し迎えた 2023 シーズンは、スローガンに掲げた「疾風怒濤」の言葉通り、目まぐるしい激動の一年となりました。

23 年振りの山梨県内出身者となる篠田善之氏のもと、リーグ戦、ACL、カップ戦すべてを戦い抜くために、33 名の選手を揃えてシーズンに挑みました。

FUJIFILM SUPER CUP から始まったシーズンは、横浜 F マリノスに敗れはしたものの、J１復帰を誓ったリーグ戦では、前半戦の 21 節終了時点で 6 位とプレーオフ圏内に食らいつく粘りある戦いを見せました。リーグ戦後半については、主力選手の移籍や負傷等により、順位が 10 位まで転落する時期もありましたが、シーズン途中での補強等の効果もあり、苦しみながらではありましたが、プレーオフ圏内の 6 位に留まり、最終戦のアウェイ山形戦に挑みました。山形には先取点を奪ったものの終盤に逆転を許して、あと一歩のところでプレーオフ進出は叶わず、最終的には、18 勝 10 分 14 敗で 8 位という悔しい結果でリーグ戦を終えることになりました。

一方、初めての挑戦となった ACL は、初戦アウェイのメルボルン・シティ戦には引き分けたものの、次に迎えたホーム国立でのブリーラム・ユナイテッド戦では、試合終了間際の得点で、見事歴史的な勝利を収めました。アジアの強豪を相手にしても十分に戦えるという自信を得たチームは、勢いのままに 3 勝 2 分 1 敗のグループ首位でベスト 16 に進出し、当初は、「アジアの強豪を相手にせめて 1 勝でも」といった世間の前評判を大きく覆す程の素晴らしい戦いを繰り広げました。

また、本大会は平日にも関わらず大勢のサポーターが応援に駆け付けて頂き、特に、「甲府にチカラを」を合言葉に山梨県民だけではなく、東京在住のサポーター、更には、他チームと他の競技を応援するサポーターまでもが多数来場し、他国のフットボール文化では考えられない現象が話題を呼び、「ヴァンフォーレブランド」の向上に資するものとなり、懸念していた賑わいという観点でも大きな話題と盛り上がりに繋がりました。

残念ながら J1 昇格は果たすことができませんでしたが、年間 52 試合を戦い抜いた怒涛のシーズンは、チームに新たな歴史を刻むことが出来たことに加え、選手、スタッフ、フロントスタッフも含めて、クラブ全体の成長に繋る貴重な一年となりました。

リーグ戦のホームゲームにつきましては、総入場者数157,184人（昨年103,531人）昨年比＋53,653人、また平均入場者数は、7,485人（昨年4,930人）昨年比＋2,555人となり、天皇杯優勝の効果と新型コロナ感染拡大による制限が無くなったことにより、入場者数は大幅に増加しました。またシーズンシート・ファンクラブ会員につきましては、シーズンシート会員口数が4,437口（昨年4,057口）昨年比＋380口と、こちらも天皇杯優勝の効果も相まって増加し、ファンクラブ会員口数に関しても集客注力試合におけるプレゼント企画やイベントの効果もあり 6,034 口（昨年 4,280 口）昨年比+1,754 口と戦略的マーケッティングによって多くの会員を獲得することに成功しました。

経営面においては、ACL出場という未知の挑戦による膨大な支出が予想されたため、当初は大幅な赤字決算も視野に入れた事業計画を策定致しました。これに加えて、支出面におきましては、シーズン開始から物価高騰や円安の影響を大きく受けたものの、リーグ戦における入場者数の増加やACLでの予想以上の盛り上がりにより、入場料収入と物販収入が予想を大きく上回り増収となりました。また、多くのスポンサー様や山梨県を始めとする行政から引き続き減免等のご支援とACL出場に伴うリーグ等からのサポートもあり、なんとか純利益が計上できるところまで収支は改善しました。

その結果、営業収入は過去最高の20億4千万円、営業利益が約65万円、経常利益を1千3百万円、当期純利益は8百万円で着地をすることが出来ました。

しかし来期は、ACL出場により収入が増収した今期とは環境が大きく異なり、スポンサー収入、ACLの補助金、DAZNの配分金等を含めて、数億円程度の減収が見込まれております。ロマンを追求したACLから一転、現実の世界に引き戻された感覚ではありますが、2024シーズンのチームスローガンのとおり、フロント・チームが「緊褌一番」もう一度気を引き締め、安定した経営を継続しつつ、念願のＪ1復帰を達成できるよう最大限の努力をして参ります。

2023 明治安田生命 J2リーグ 順位表

J2リーグ終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	ホーム			アウェイ		
										勝	分	敗	勝	分	敗
1	FC町田ゼルビア	87	42	26	9	7	79	35	44	13	4	4	13	5	3
2	ジュビロ磐田	75	42	21	12	9	74	44	30	10	8	3	11	4	6
3	東京ヴェルディ	75	42	21	12	9	57	31	26	8	7	6	13	5	3
4	清水エスパルス	74	42	20	14	8	78	34	44	12	6	3	8	8	5
5	モンテディオ山形	67	42	21	4	17	64	54	10	13	2	6	8	2	11
6	ジェフユナイテッド千葉	67	42	19	10	13	61	53	8	12	5	4	7	5	9
7	V・ファーレン長崎	65	42	18	11	13	70	56	14	11	4	6	7	7	7
8	ヴァンフォーレ甲府	64	42	18	10	14	60	50	10	11	4	6	7	6	8
9	大分トリニータ	62	42	17	11	14	54	56	−2	11	3	7	6	8	7
10	ファジアーノ岡山	58	42	13	19	10	49	49	0	8	7	6	5	12	4
11	ザスパクサツ群馬	57	42	14	15	13	44	44	0	8	10	3	6	5	10
12	藤枝MYFC	52	42	14	10	18	61	72	−11	7	5	9	7	5	9
13	ブラウブリッツ秋田	51	42	12	15	15	37	44	−7	3	11	7	9	4	8
14	ロアッソ熊本	49	42	13	10	19	52	53	−1	6	3	12	7	7	7
15	徳島ヴォルティス	49	42	10	19	13	43	53	−10	5	8	8	5	11	5
16	ベガルタ仙台	48	42	12	12	18	48	61	−13	6	6	9	6	6	9
17	水戸ホーリーホック	47	42	11	14	17	49	66	−17	5	8	8	6	6	9
18	いわきFC	47	42	12	11	19	45	69	−24	6	4	11	6	7	8
19	栃木SC	44	42	10	14	18	39	47	−8	7	9	5	3	5	13
20	レノファ山口FC	44	42	10	14	18	37	67	−30	6	8	7	4	6	11
21	大宮アルディージャ	39	42	11	6	25	37	71	−34	7	3	11	4	3	14
22	ツエーゲン金沢	35	42	9	8	25	41	70	−29	6	5	10	3	3	15

2023 明治安田生命 J2リーグ 観客動員順位表

J2リーグ終了時点

順位	チーム	ホーム数	平均（人）	合計（人）
1	清水エスパルス	21	14,393	302,254
2	ベガルタ仙台	21	11,215	235,521
3	ジュビロ磐田	21	10,446	219,373
4	大分トリニータ	21	9,202	193,232
6	ジェフユナイテッド千葉	21	8,523	178,985
5	ファジアーノ岡山	21	8,495	178,393
7	モンテディオ山形	21	8,318	174,684
8	東京ヴェルディ	21	7,982	167,616
9	ヴァンフォーレ甲府	21	7,485	157,194
10	FC町田ゼルビア	21	7,426	155,956
11	V・ファーレン長崎	21	7,300	153,303
12	大宮アルディージャ	21	6,758	141,912
13	ロアッソ熊本	21	6,278	131,842
14	徳島ヴォルティス	21	5,976	125,491
15	栃木SC	21	5,834	122,511
16	レノファ山口FC	21	4,407	92,552
17	ツエーゲン金沢	21	4,225	88,722
18	ザスパクサツ群馬	21	4,121	86,548
19	水戸ホーリーホック	21	3,726	78,246
20	いわきFC	21	3,491	73,306
21	藤枝MYFC	21	3,145	66,048
22	ブラウブリッツ秋田	21	3,139	65,912

シーズンシート・ヴァンクラブ会員数

2023シーズンシート会員	4，437口
2023ヴァンクラブ会員	6，034口
2022シーズンシート会員	4，057口
2022ヴァンクラブ会員	4，280口

AFC チャンピオンズリーグ順位表

ACLグループステージ終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差
1	ヴァンフォーレ甲府	11	6	3	2	1	11	8	3
2	メルボルン・シティ	9	6	2	3	1	9	8	1
3	浙江FC	7	6	2	1	3	9	13	−4
4	ブリーラム・ユナイテッド	6	6	2	0	4	9	10	−1

選手、スタッフ、フロント業務一覧

項　目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
イベント参加 （選手、ｽﾀｯﾌ、ﾏｽｺｯﾄ）	121回	137回	81回	44回	48回	72回
サッカー教室	166回	159回	98回	128回	62回	203回
交流活動 （施設訪問等）	8回	8回	2回	2回	5回	7回
巡回教室 （ｽﾎﾟｰﾂ教室、夢、ご飯のチカラ、仕事図鑑）	35回	24回	20回	110回	106回	86回
巡回ヴァンくん体操	26回	15回	6回	3回	4回	5回
介護予防事業	15回	82回	74回	40回	81回	109回
講演会/講習会/講話	36回	33回	21回	20回	29回	20回
関連団体行事	114回	109回	93回	55回	68回	40回
クラブ直轄行事	37回	24回	8回	26回	65回	60回
職場体験/インターンシップ （受入人数）	42回	28回	6回	3回	4回	10回
総合計	600回	619回	409回	431回	472回	612回

経営状況の推移

（株）ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

令和6年1月

損益計算書

（単位：円）

科目	平成３０年 ２０１８年（J2）	令和元年 ２０１９年（J2）	令和２年 ２０２０年（J2）	令和３年 ２０２１年（J2）	令和４年 ２０２２年（J2）	令和5年 ２０２３年（J2）
営業収入	1,511,261,821	1,454,917,359	1,228,880,631	1,291,863,131	1,563,953,767	2,040,349,811
入場料	90,486,768	90,004,086	42,872,602	44,042,850	52,685,844	197,081,649
広告料	759,704,698	799,610,444	724,982,475	717,627,727	748,565,634	851,044,015
シーズンシート･ヴァンクラブ	206,662,324	195,749,862	66,590,306	153,028,234	156,074,261	170,111,321
Ｊ配分金ほか	306,127,811	165,447,151	172,667,696	185,225,932	187,103,577	246,935,755
その他収益	148,280,220	204,105,816	221,767,552	191,938,388	419,524,451	575,177,071
営業費用	1,500,402,433	1,460,252,199	1,278,016,746	1,227,456,828	1,527,818,926	2,039,692,909
チーム関係費	961,922,514	903,867,321	781,626,966	652,472,887	917,657,134	1,119,271,556
試合運営費	118,416,941	104,123,720	74,681,276	107,018,500	104,529,943	212,076,527
クラブ運営費	420,062,978	452,261,158	421,708,504	467,965,441	505,631,849	708,344,826
営業利益	10,859,388	-5,334,840	-49,136,115	64,406,303	36,134,841	656,902
営業外利益	8,182,030	10,151,759	31,726,110	25,633,623	24,284,611	18,098,966
営業外費用	8,374,152	7,473,941	4,581,627	6,063,593	5,887,354	5,771,451
経常利益	10,667,266	-2,657,022	-21,991,632	83,976,333	54,532,098	12,984,417
特別利益	84,669	0	0	0	45,099	0
特別損失	0	1	0	0	13,622,316	0
税引前当期純利益	10,751,935	-2,657,023	-21,991,632	83,976,333	40,954,881	12,984,417
法人税及び住民税	3,935,022	297,255	297,203	16,751,239	14,669,140	4,766,307
法人税等調整額	5,676,911	1,655,826	30,378,337	0	0	0
当期利益	1,140,002	-4,610,104	-52,667,172	67,225,094	26,285,741	8,218,110
過年度税効果調整額	0	0	0	0	0	0
繰越損益	-96,832,058	-101,442,162	-154,109,334	-86,884,240	-60,598,499	-52,380,389

2024シーズン目標

○ シーズンシート会員数

５，０００　口（前年度実績　４，４３７　口）

○ ヴァンクラブ（公式ファンクラブ）会員数

６，５００　口（前年度実績　６，０３４　口）

○ 平均観客動員数

８，５００　人（前年度実績　７，４８５　人）

○ 広告料収入

８億　円（前年度実績　８億５，１００万円）